

これまでの総合的な土砂管理の 取り組み状況

平成28年 2月26日

1. 総合的な土砂管理を検討する枠組み

総合的な土砂管理の取り組みについて

総合土砂管理は、平成10年度河川審議会の答申を始め、各種審議会等にてその重要性が指摘されました。答申では、問題解決の新たな視点として流域の源頭部から海岸までの一貫した土砂の運動領域を「流砂系」という概念で捉え、総合的な土砂管理の考え方、具体的施策を実施することが謳われています（図-1参照）。また、平成20年7月に閣議決定された国土形成計画（全国計画）では、連携方針の策定が盛り込まれました（図-2参照）。

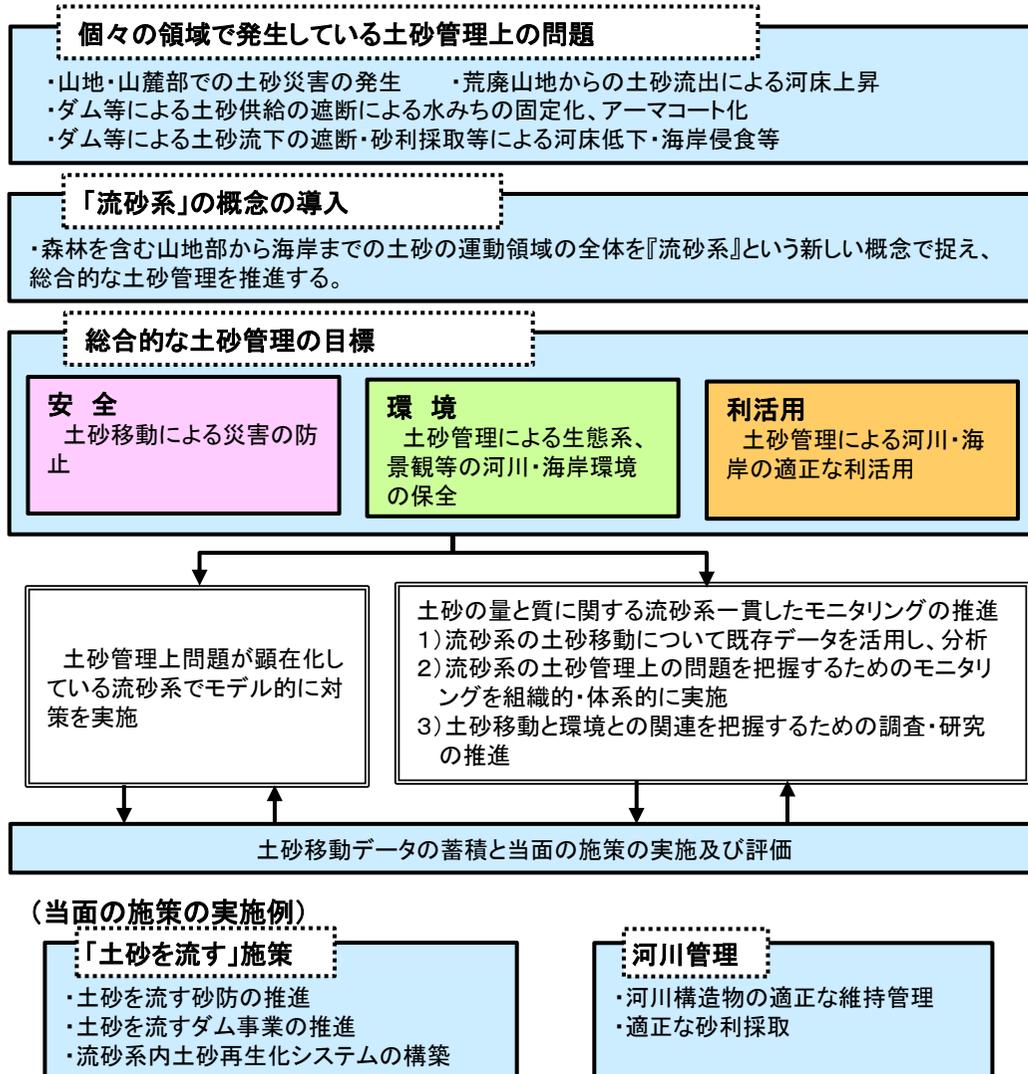


図-1 総合的な土砂管理の枠組み

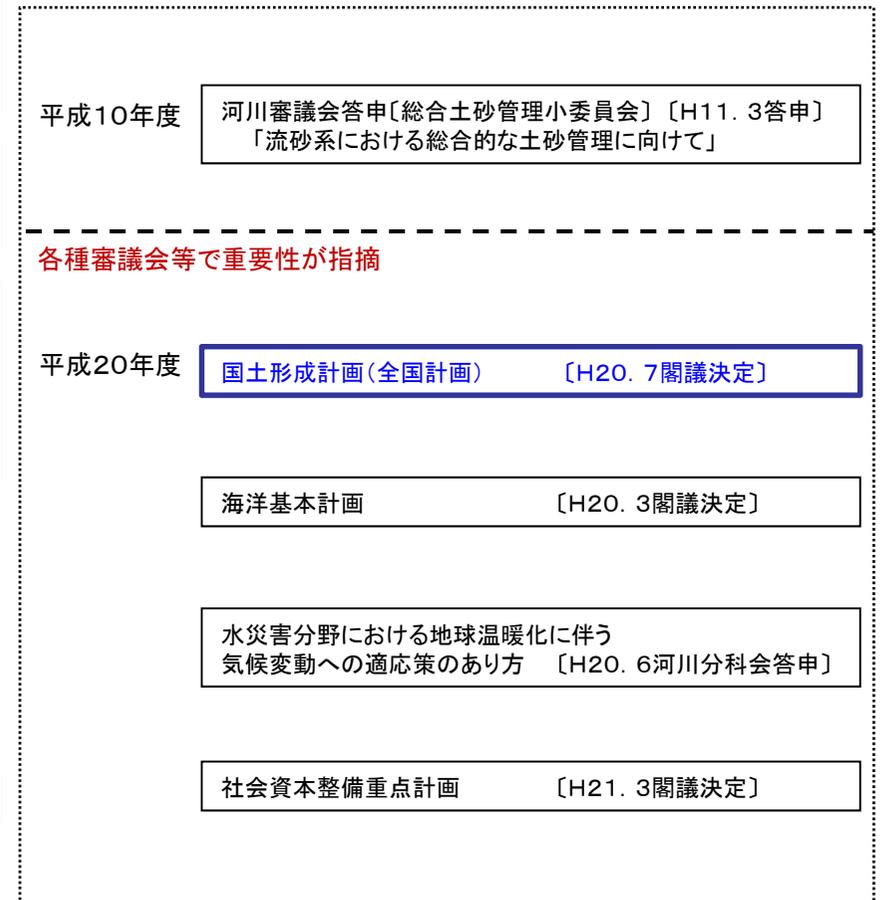


図-2 土砂管理の枠組み

2. これまでの取り組み状況（那賀川水系総合土砂管理勉強会の開催）

- 那賀川における土砂の流れの改善に向けた関係機関の連携強化を目的とし、平成20年度より関係機関による「那賀川水系総合土砂管理勉強会」を12回開催し、情報共有を図っている。
- 平成25年3月には、山地から海岸まで一貫した総合土砂管理の取組を推進するための連携方針を策定している。

【総合的な土砂管理の取組 連携方針】

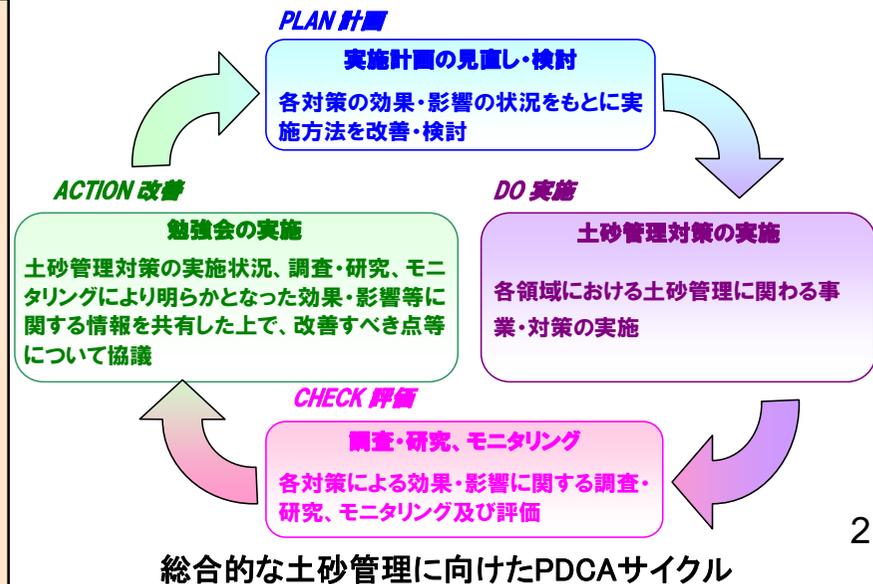
『土砂災害や洪水、海岸侵食に対して「安全で美しい那賀川」、『安全で美しい砂浜を有する今津坂野・那賀川左岸海岸』を目指し、関係機関が連携して土砂の流れの改善に取り組む。また、自然の営力による土砂移動を適切に評価し、関係機関の役割分担のもと土砂動態の把握に向けた調査・研究、モニタリングを継続的に実施し情報共有を図る。

【実施している事業内容】

- ①土砂生産域
林野庁：地すべり防止事業
徳島県：砂防事業・治山事業・地すべり対策事業・森林整備事業
- ②ダム域
国：長安口ダム堆砂対策、下流河道への土砂還元
四国電力：小見野々ダム堆砂対策
- ③河道域
国・徳島県：砂利採取規制、樹木伐採
- ④海岸域
徳島県：海岸侵食対策事業

那賀川水系総合土砂管理勉強会の開催状況

	年月日	これまでの主な取組内容	会員
第1回	H20.11.25	<p>■那賀川における土砂動態変化と問題点の抽出及び情報共有</p> <p>・ダム堆砂の進行 →治水・利水安全度の低下、濁水の発生等</p> <p>・河床低下 →みお筋の固定化、局所洗掘の発生等が、治水安全度低下、河川環境変化の要因</p> <p>■問題点を改善するための方策の検討</p> <p>■連携方針及び実施計画策定に向けた検討の実施</p> <p>■総合土砂管理に関する情報共有方策の検討</p>	<p>四国地方整備局那賀川河川事務所 徳島県土整備部河川整備課 徳島県土整備部砂防防災課 徳島県農林水産部森林整備課 徳島県農林水産部農業基盤課 徳島県企業局工務課 四国森林管理局徳島農林管理署治山グループ 四国電力(株)徳島支店土木建築課</p>
第2回	H21.3.18		
第3回	H22.3.29		
第4回	H22.9.15		
第5回	H23.3.2		
第6回	H23.11.2		
第7回	H24.10.23		
第8回	H25.2.4		
第9回	H25.10.4		
第10回	H26.2.6		
第11回	H27.2.3		
第12回	H27.9.17		



3. 総合的な土砂管理の取り組み状況（経緯）

那賀川流砂系における課題

- ・山地・山麓部での土砂災害の発生
- ・荒廃山地からの土砂流出による河床上昇
- ・活発な土砂生産により、長安口ダム・小見野々ダムでは堆砂が進行して有効貯水容量が減少
- ・ダム等による土砂供給の遮断による水みちの固定化、アーマコート化
- ・ダム等による土砂流下の遮断・砂利採取等による河床低下・海岸侵食等

課題解決に向けた取り組み

那賀川水系総合土砂管理勉強会を開催

- ・土砂の流れの改善に向けた関係機関の連携強化
- ・平成20年度より関係機関による勉強会を実施(計12回)
- ・平成25年3月には、山地から海岸まで一貫した総合土砂管理の取組を推進するための連携方針を策定

課題解決に向けた更なる取り組み

那賀川総合土砂管理検討協議会準備会開催 (H28.1.28)

- ・協議会の設立に向けた準備

那賀川総合土砂管理検討協議会設立(H28. 2. 26)

- 【流域施設管理者全体が主体】
- ・土砂管理目標と管理指標の設定
 - ・各管理者が実施すべき対策(事業)の決定
 - ・総合土砂管理実現に向けたモニタリング計画の策定

那賀川総合土砂管理計画の策定・実施